

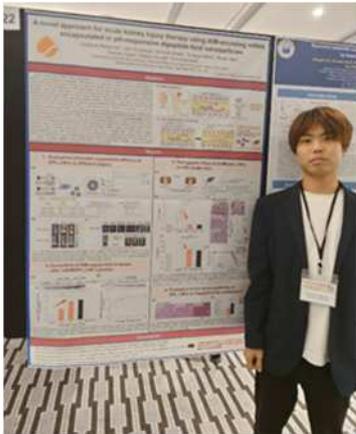
報告書

国際学会に参加して得た経験

私は、2025年11月に開催された Drug Delivery Australia (DDA) 2025 に参加させていただきました。本学会は、私自身の研究分野である薬物送達学において、国際的に著名な研究者が多数集う国際学会であり、オーストラリア国内の研究者に加え、アジア諸国をはじめとする多国籍の研究者が参加していました。学会会場では、分野横断的な研究発表や活発な意見交換が行われており、国際学会ならではの刺激的な雰囲気を感じました。

本学会において私は、発表の機会に恵まれ、博士前期課程における主な研究テーマである「脂質ナノ粒子 (Lipid Nanoparticles: LNP) を用いた mRNA による急性腎障害の新規治療法開発」に関して、ポスター発表を行いました。本研究では、mRNA を LNP に内包することで、急性腎障害モデルにおける治療効果を検証しており、DDS 技術の新たな応用可能性を示す内容となっています。本発表内容を国際学会の場で発表することは今回が初めての試みでしたが、想定以上に多くの研究者の方々から関心を持っていただき、好意的なご意見や建設的なコメントを多数頂くことができました。また、自身では気づくことができなかった新たな視点や、今後の研究展開に繋がる示唆を多く得ることができました。さらに、私が所属する研究室では、毎月英語による研究報告の機会が設けられており、留学生も多数在籍する環境の中で、日常的に英語で研究内容の議論をする機会に恵まれています。本学会での発表は、これまで培ってきた英語でのディスカッション能力を実践的に発揮する絶好の機会であったと同時に、自身の英語力における課題を明確に認識する機会ともなりました。

今回の国際学会参加を通じて得られた知見や経験は、今後の研究活動のみならず、将来の進路選択や就職活動においても大きな糧になると考えています。今後は、本学会で得られた視点や課題意識を研究に反映させ、より広い視野を持って多角的な考察を行いながら、研究活動に一層邁進していく所存です。最後に、本国際学会への参加という貴重な機会をご支援いただいた大学院学生国際学会発表支援事業に、深く感謝申し上げます。



薬食生命科学総合学府 薬食生命科学専攻
博士後期課程1年 医薬生命化学講座
又吉 克樹